

青色
Blue



アーバンドック ららぽーと豊洲

江東区豊洲2-4-9 都バス 業10・錦13甲・東15・東16・門19甲「豊洲二丁目」下車

2006年10月、海辺の街・豊洲にオープンした大型商業施設です。ここはかつてIHI（旧・石川島播磨重工業）の造船ドックだったところ。目の前には青い海が広がり、造船所の歴史を伝える大型のクレーンや跳ね橋が今も残っています。建物には190のショップやレストランのほか、浮世絵美術館などの文化施設や子どもが主役の子どもの街「キッズニア東京」などもあり、子どもから大人まで楽しめるコンテンツが盛りだくさんです。

紺青色
Ultramarine Blue



清洲橋

大江戸線「清澄白河駅」より徒歩8分 都バス 秋26「清洲橋」下車

冴えた青色と優雅な曲線のシルエットが印象的な清洲橋は、隅田川にかかる橋の中でも一番美しい橋と言われています。現在の橋は、関東大震災の復興事業として、「ドイツクルン」の吊り橋をモデルに1928年に完成しました。全長は186.3メートル。建設当時、兩岸にあった日本橋区中洲町と深川区清住町を結ぶことから、この名が付けられました。2007年6月に国の重要文化財に指定されています。

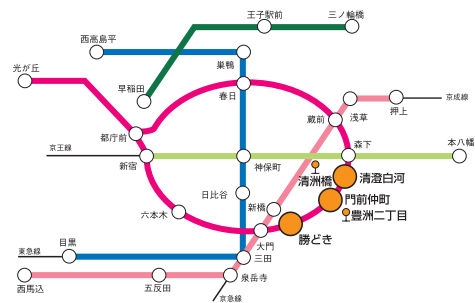
東京都交通局



東京 彩々

都営交通で訪ねる、鮮やかな風景

東京を彩るさまざまな風景。同じ風景でも、季節や時間、人の営みによって色とりどりの表情を見せてくれます。今回は、青い風景を都営交通に乗って訪ねてみます。



瑠璃色
Cobalt Blue

大江戸線・勝どき駅構内「ゆとりの空間」

勝どき駅周辺は、勝間橋の開通（1940年）とともに発展したエリア。川や運河に囲まれ、海にも近いことから、駅舎も水や波をテーマに明るいブルーグレーの色調で統一感を出しています。月島橋方面の改札には、ギリシャ神話の海神「トリトン」を描いた壁画があり、ゆとりの空間を演出しています。



縹色
Sapphire Blue

大江戸線・門前仲町駅構内「ゆとりの空間」

江戸時代から栄える門前仲町には、富岡八幡宮や深川不動尊があり、江戸三大祭の一つ「深川八幡祭り」でも有名です。改札正面の壁面には、薄い藍色である縹色や中縹色を使用し、祭りでは着るはっぴの柄をイメージした作品があり、和の雰囲気印象づけています。